

12.1.6 景觀

12.1.6 景観

1. 主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観

(1) 調査結果の概要

① 主要な眺望点

a. 文献その他の資料調査

(a) 調査地域

対象事業実施区域を中心とした半径約 5 km の範囲内とした。

(b) 調査地点

周囲の地形の状況、眺望点及び景観資源の分布状況、不特定多数の人が利用している場所並びに地域住民が日常生活上慣れ親しんでいる場所から主要な眺望点候補地点を抽出した。

(c) 調査方法

「神戸らしい眺望景観 50 選・10 選MAP」(神戸市、平成 24 年)、「神鋼神戸発電所環境影響評価書」(株式会社神戸製鋼所、平成 10 年)、「まるごと六甲山」(国立公園六甲山地区整備促進協議会、平成 25 年)及び「県別マップル 28 兵庫県道路地図」(昭文社、平成 27 年)による情報の収集、整理及び解析を行った。

(d) 調査結果

主要な眺望点候補地点 38 地点を抽出した。抽出した地点の位置は第 12.1.6-1 図、その概要は第 12.1.6-1 表のとおりである。

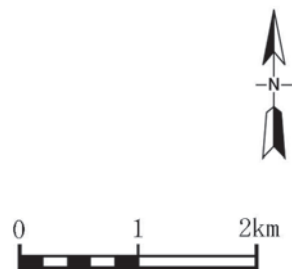
第 12. 1. 6-1 図 主要な眺望点候補地点の位置



凡 例 □ : 対象事業実施区域 □ : 発電設備の設置予定地

● : 主要な眺望点候補地点 (1 ~ 38) - - - : 遊覧船航路

〔神戸らしい眺望景観50選・10選MAP〕 (神戸市、平成24年)
 〔まるごと六甲山〕 (国立公園六甲山地区整備促進協議会、平成25年)
 〔神鋼神戸発電所環境影響評価書〕 (株式会社神戸製鋼所、平成10年)
 〔神戸港クルージングインフォメーション〕 (神戸港観光船協議会、平成22年)
 〔県別マップル28兵庫県道路地図〕 (昭文社、平成27年) より作成



第 12. 1. 6-1 表(1) 主要な眺望点候補地点の概要

図中 番号	地点名称	景観 区分	方向 距離	利用 形態	視認性	概要
1	六甲山上駅天 覧台	遠景	北 約 5.6km	観光	○	六甲ケーブル山上駅にある展望台で、神戸市内を一望 できる。煙突と建屋を同時に視認できる。
2	神戸市役所 1 号館展望ロビ ー	中景	西南西 約 4.8km	観光	○	市役所の 24 階に位置し、東西南北の窓を通して神戸 市内を眺望できる。煙突と建屋を同時に視認できる。
3	神戸港遊覧船 (神戸バイク ルーズ) 航路 上	中景	西南西 約 3.7km	観光	○	中央突堤から出港し、神戸港内をめぐる航路である。 煙突と建屋を同時に視認できる。
4	JR西日本 六甲 道駅	中景	北北西 約 1.6km	生活・ 観光	△	東海道本線(神戸線)の駅の 1 つである。煙突を視認で きる。
5	保久良神社	中景	北東 約 4.8km	観光	×	金鳥山中腹にある神社で、保久良梅林が隣接してい る。対象事業実施区域方向には樹木があり、視認でき ない。
6	表六甲ドライ ブウェイ鉢巻 展望台	遠景	北北西 約 5.6km	観光	○	表六甲ドライブウェイにある展望台で、神戸市内を眺 望できる。煙突と建屋を同時に視認できる。
7	掬星台展望台	遠景	北西 約 5.1km	観光・ レク	○	摩耶山山頂付近の展望広場に 2 つの展望台があり、神 戸市内を眺望できる。煙突と建屋を同時に視認でき る。
8	住吉台展望公 園	中景	北北東 約 4.5km	生活	○	荒神山中腹の住宅地に位置する公園である。煙突と建 屋を同時に視認できる。
9	神戸大学正門 前	中景	北北西 約 3.1km	生活	○	大学正門前から、煙突と建屋を同時に視認できる。
10	五鬼城山展望 公園	中景	北西 約 3.7km	レク	○	摩耶ケーブル駅と虹の駅間の登山道沿いにある公園 で、3 つの展望広場がある。このうち 2 つの展望広場 から煙突と建屋を同時に視認できる。
11	布引ハーブ園 展望広場	遠景	西北西 約 5.3km	観光	○	神戸布引ロープウェイ山頂駅にある展望広場から神戸 市内を一望できる。展望広場から対象事業実施区域方 向を視認できないが、展望レストハウス 2 階から煙突 と建屋を同時に視認できる。
12	六甲ライナー マリンパーク 駅	中景	南東 約 2.9km	生活	×	六甲ライナーの終着駅で、付近には高校や大学があ る。対象事業実施区域方向にはマンションがあり、視 認できない。
13	六甲大橋	中景	東 約 2.0km	生活	○	六甲アイランドにつながる橋梁に歩道があり、煙突と 建屋を同時に視認できる。
14	処女塚古墳	中景	北 約 1.1km	観光	×	3 世紀後半につくられた全長約 66m の前方後方墳で ある。対象事業実施区域方向には高速道路や建物があ り、視認できない。
15	阪神電鉄 大石 駅	中景	西北西 約 1.5km	生活・ 観光	○	対象事業実施区域の北西方向にある駅で、煙突と建屋 を同時に視認できる。
16	白鶴美術館付 近	中景	北北東 約 3.4km	生活・ 観光	×	住吉川沿いの東洋古美術を中心とした美術館付近であ る。対象事業実施区域方向には建物があり、視認でき ない。
17	住吉橋付近	中景	北東 約 2.8km	生活	×	住吉川と国道 2 号線が交差する橋付近である。対象事 業実施区域方向には六甲ライナーや建物があり、視認 できない。
18	六甲アイラン ド北公園	中景	東南東 約 2.2km	生活	○	六甲アイランドの北端、六甲大橋の橋下に位置する公 園である。停泊している船舶によって状況は異なる が、煙突と建屋を同時に視認できる。
19	六甲アイラン ド・リバーモ ール	中景	南東 約 2.5km	生活	×	六甲アイランドの中心に位置する親水公園である。対 象事業実施区域方向に建物があり、視認できない。
20	御影公会堂付 近	中景	北 約 1.5km	生活	△	昭和 8 年に建てられた建築物付近で、石屋川と国道 2 号線が交差している。煙突を視認できる。

第 12. 1. 6-1 表(2) 主要な眺望点候補地点の概要

図中 番号	地点名称	景観 区分	方向 距離	利用 形態	視認性	概要
21	篠原橋付近 (都賀川)	中景	北西 約 2.1km	生活	×	都賀川にかかる橋梁で、対象事業実施区域方向に建物があり、視認できない。
22	長峰坂	中景	北西 約 3.1km	生活	○	全長 550mある急勾配の坂で徳川道の一部である。煙突と建屋を同時に視認できる。
23	灘丸山公園	中景	北西 約 3.5km	生活・ レク	○	山際の高台にある公園で、神戸市内を一望できる。煙突と建屋を同時に視認できる。
24	神戸布引ロー プウェイ	遠景	西北西 約 5.1km	観光	○	布引ハーブ園に向かうロープウェイである。煙突と建屋を同時に視認できる。
25	JR西日本 新神 戸駅	中景	西 約 4.5km	生活・ 観光	×	六甲山山麓にある新幹線の停車する駅である。対象事業実施区域方向には建物があり、視認できない。
26	ポートアイラ ンド北公園	中景	南西 約 4.7km	生活	○	ポートアイランドの北端にある公園で、煙突と建屋を同時に視認できる。
27	ポートライナ ー	中景	南西 約 4.7km	生活・ 観光	○	三宮と神戸空港を結ぶ路線である。煙突と建屋を同時に視認できる。
28	摩耶ケーブル 虹の駅	中景	北西 約 4.2km	生活・ 観光	○	まやビューラインの中間駅で、煙突と建屋を同時に視認できる。
29	岡本(梅林) 公園	中景	北東 約 4.2km	生活・ 観光	×	六甲山山麓にある梅林の有名な公園である。対象事業実施区域方向には建物があり、視認できない。
30	阪神電鉄 住吉 駅	中景	北東 約 1.9km	生活	○	対象事業実施区域の北東方向にある駅で、建物の間から煙突と建屋を同時に視認できる。
31	阪神電鉄 御影 駅	中景	北北東 約 1.7km	生活・ 観光	×	対象事業実施区域の北北東方向にある駅で、対象事業実施区域方向に建物があり、視認できない。
32	阪神電鉄 石屋 川駅	中景	北北東 約 1.3km	生活	○	対象事業実施区域の北北東方向にある駅で、煙突と建屋を同時に視認できる。
33	阪神電鉄 新在 家駅	中景	北北西 約 1.1km	生活	○	対象事業実施区域の北北西方向にある駅で、煙突と建屋を同時に視認できる。
34	阪神電鉄 西灘 駅	中景	西北西 約 2.0km	生活	×	対象事業実施区域の西北西方向にある駅で、対象事業実施区域方向には建物があり、視認できない。
35	新在家南公園	近景	北西 約 0.8km	生活	△	対象事業実施区域近傍の北西方向にある公園で、煙突を視認できる。
36	灘浜緑地	近景	西 約 0.9km	生活	○	対象事業実施区域近傍の西方向にある公園で、煙突と建屋を同時に視認できる。
37	六甲ライナー 南魚崎駅	中景	東北東 約 2.1km	生活	○	対象事業実施区域の東北東方向にある駅で、煙突と建屋を同時に視認できる。
38	中央航路上	中景	南 約 3.4km	観光	○	大型客船が航行する航路上で、煙突と建屋を同時に視認できる。

注：1. 図中番号は、第 12. 1. 6-1 図を参照。

2. 景観区分、方向、距離、利用形態及び視認性の各欄の内容は、次のとおりである。

- ・景観区分：近景；約 1 km以内、中景；約 1～5 km、遠景；約 5 km以遠
(「景観工学」(石井一郎ほか、平成 13 年)に基づく)
- ・方 向：新設の煙突から見た主要な眺望点候補地点の方向(16 方位)
- ・距 離：新設の煙突から主要な眺望点までの直線距離
- ・利用形態：レク；主にスポーツ、釣り、海水浴等のレクリエーションを目的として利用されている
生活；主に日常生活の中で利用されている
観光；主に観光を目的として利用されている
- ・視 認 性：新設発電所の視認状況を想定して現地で確認
○；良い (煙突と建屋を同時に視認できる)
△；やや悪い(煙突を視認できる)
×；悪い (煙突、建屋ともに視認できない)

〔「神戸らしい眺望景観50選・10選MAP」(神戸市、平成24年)
「神鋼神戸発電所環境影響評価書」(株式会社神戸製鋼所、平成10年)
「まるごと六甲山」(国立公園六甲山地区整備促進協議会、平成25年)
「県別マップル28兵庫県道路地図」(昭文社、平成27年)より作成〕

② 景観資源の状況

a. 文献その他の資料調査

(a) 調査地域

対象事業実施区域を中心とした半径約 5 km の範囲内とした。

(b) 調査方法

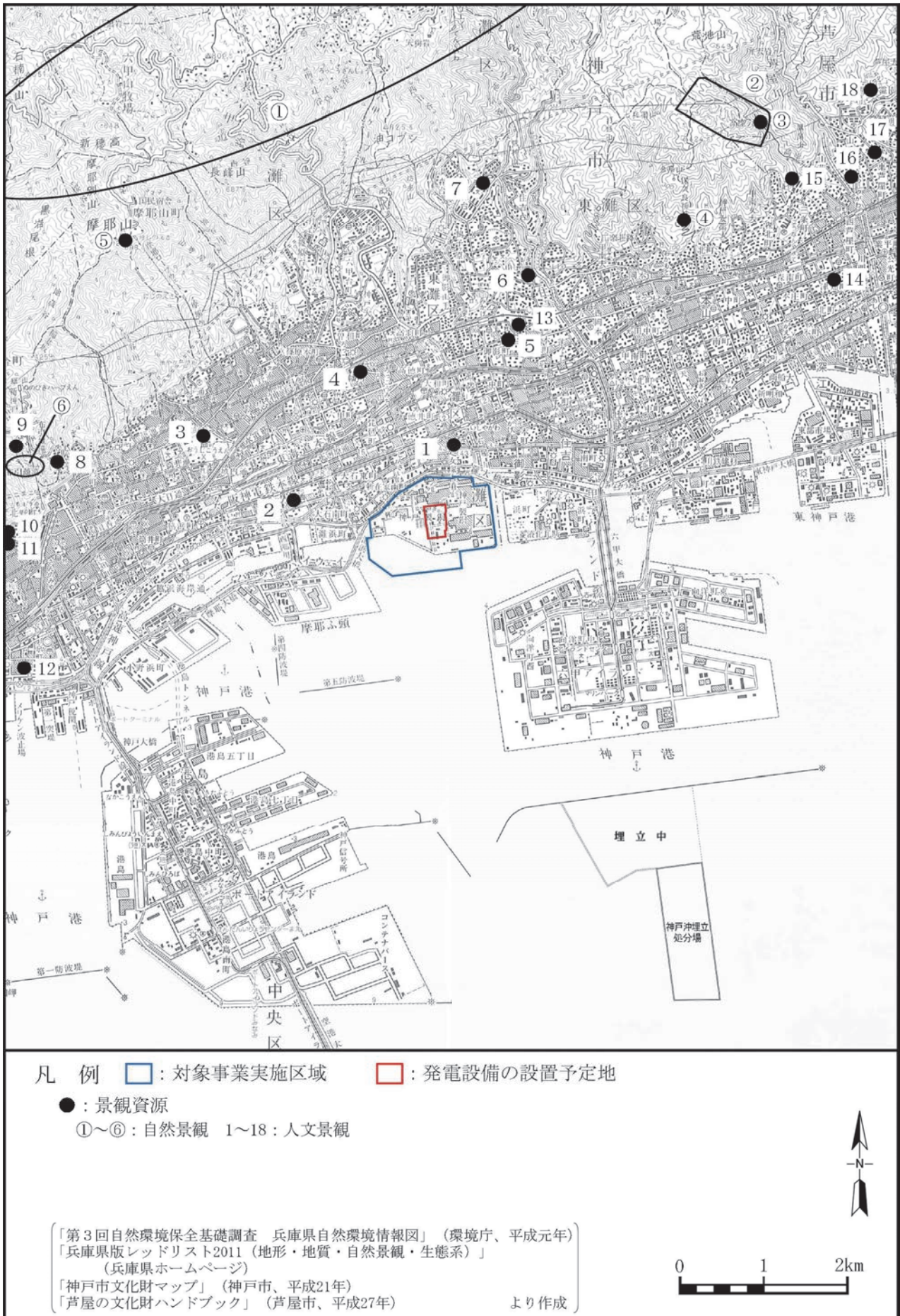
対象事業実施区域周辺の自然景観資源及び人文景観資源の分布状況及び概要について、「第 3 回自然環境保全基礎調査 兵庫県自然環境情報図」（環境庁、平成元年）、「兵庫県版レッドリスト 2011（地形・地質・自然景観・生態系）」（兵庫県ホームページ）、「神戸市文化財マップ」（神戸市、平成 21 年）及び「芦屋の文化財ハンドブック」（芦屋市、平成 27 年）等による情報の収集、整理及び解析を行った。

(c) 調査結果

景観資源の位置は第 12.1.6-2 図、その概要は第 12.1.6-2 表のとおりである。

対象事業実施区域の周辺には自然景観として 6 地点、人文景観として 18 地点がある。

第 12.1.6-2 図 景観資源の位置



第 12. 1. 6-2 表(1) 景観資源の概要

区分	図中番号	名称	方向	距離	概要
自然景観	①	六甲山系の準平原・断層・アカマツ林	北西～北東	約 5km 以上	県のレッドデータブックに指定された自然景観である。六甲山頂は風化した花崗岩から成る隆起した準平原で、南縁には六甲断層系が発達し、六甲山の花崗岩土壌に適したアカマツ林が多く見られる。
	②	ロックガーデン	北東	約 6. 0km	花崗岩山地特有の岩塊・岩塔が続く岩場で、日本のロック・クライミングの発祥地として知られている。
	③	高座の滝	北東	約 6. 2km	ロックガーデン登山口の入り口に位置し、神戸市と芦屋市の市境界にある高さ約 10mの滝である。
	④	保久良神社の森	北東	約 4. 8km	金鳥山中腹にある保久良神社周辺の森で、神戸市の市民の森に選定され、県の環境緑地保全地域に指定されている。
	⑤	摩耶山	北西	約 5. 2km	瀬戸内海国立公園内の六甲山地の中央に位置する標高 702 mの山で、山頂付近には掬星台展望台、摩耶自然観察園等がある。
	⑥	布引溪谷・布引の滝	西	約 4. 9km	生田川の中流に位置し、大都市の近くでありながら大小の滝が続く溪谷である。布引の滝とは雄滝、夫婦滝、鼓が滝、雌滝の 4 つの滝を指している。
人文景観	1	処女塚古墳	北	約 1. 0km	3 世紀後半につくられた二段築成の全長約 66mの前方後方墳である。
	2	西求女塚古墳	西	約 1. 8km	3 世紀後半につくられた全長約 98mの前方後方墳である。畿内の大王勢力との関わりをもつ豪族の墓として築造されたと考えられている。
	3	旧ハンター住宅	西北西	約 3. 0km	木骨煉瓦造 2 階建て、明治 22 年頃建設された現存する異人館の中では最大規模のものの一つである。
	4	六甲八幡神社	北北西	約 2. 2km	戦国期に荒廃していたものを、天正末年に村民が協力して再建したといわれ、本殿東隣には安土桃山時代に建てられた三間社流造の社殿がある。
	5	伝平野備前守忠勝参り墓石室	北北東	約 2. 4km	鎌倉時代後期につくられた平野備前守忠勝の参墓である。
	6	旧乾家住宅	北北東	約 3. 3km	昭和 11 年頃に乾汽船株式会社を設立した乾新治氏の自宅として建築された鉄筋コンクリート造 2 階建ての神戸を代表する近代建築物の 1 つである。
	7	渦ヶ森スラスト（衝上断層）	北	約 4. 1km	六甲山地は第四紀(約 200 万年前～現在)の地殻変動により形成された地形で、この変動で顕著に露見した断層が渦ヶ森スラストである。
	8	徳光院	西	約 4. 7km	県下最古で神戸市内唯一の多宝塔がある。徳光院及びその周辺も文化財に指定されている。
	9	布引水源地水道施設	西	約 5. 2km	神戸市水道創設時の水源地施設群で、明治 33 年竣工の日本で 7 番目となる近代水道施設である。
	10	風見鶏の館（旧トーマス住宅）	西	約 5. 2km	明治 42 年頃建てられた異人館で、煉瓦の外壁をもつ建物である。
	11	小林家住宅（旧シャープ住宅）	西	約 5. 2km	神戸のアメリカ総領事であったハンター・シャープ氏の邸宅として、明治 36 年に建てられた異人館で、外観の色彩から「萌黄の館（もえぎのやかた）」と呼ばれている。
	12	旧神戸居留地十五番館	西南西	約 5. 2km	旧居留地内に唯一残る居留地時代の商館で、当初はアメリカ領事館であった。
	13	旧村山家住宅	北北東	約 2. 6km	明治 42 年に建てられた洋館とともに、書院棟、玄関棟、茶室棟等の和風建築が国の重要文化財に指定されている。
	14	日吉神社石祠	東北東	約 5. 6km	四注寄棟形式の石祠屋根に「永正十七年(1520 年)」の銘文がある石祠で、神戸市内最古の金石文である。

第 12. 1. 6-2 表(2) 景観資源の概要

区分	図中番号	名称	方向	距離	概要
人文景観	15	会下山遺跡	北東	約 6. 0km	標高 160～200mの表六甲山地の尾根上にある、弥生時代中期から後期の高地性集落の跡である。
	16	旧山邑家住宅（淀川製鋼所迎賓館）	北東	約 6. 5km	大正 13 年に建てられた鉄筋コンクリート造の建物である。全国で初めて鉄筋コンクリート造として国の重要文化財に指定された。
	17	伝猿丸太夫之墓	北東	約 7. 0km	「猿丸太夫墓」と記されている鎌倉時代後期の宝塔である。芦屋神社社殿の裏庭にある。
	18	徳川大坂城毛利家採石場出土刻印石	北東	約 7. 6km	1620～1629 年の徳川大坂城再築に伴う石垣で、毛利家採石場の刻印がある。

注：1. 図中番号は、第 12. 1. 6-2 図を参照。

2. 方向及び距離の各欄の内容は、次のとおりである。

- ・方向：新設の煙突から見た景観資源の方向（16 方位）
- ・距離：新設の煙突から景観資源までの直線距離

〔「第 3 回自然環境保全基礎調査 兵庫県自然環境情報図」（環境庁、平成元年）
 「兵庫県版レッドリスト 2011（地形・地質・自然景観・生態系）」
 （兵庫県ホームページ）
 「神戸市文化財マップ」（神戸市、平成 21 年）
 「芦屋の文化財ハンドブック」（芦屋市、平成 27 年）等 〕より作成

③ 主要な眺望景観の状況

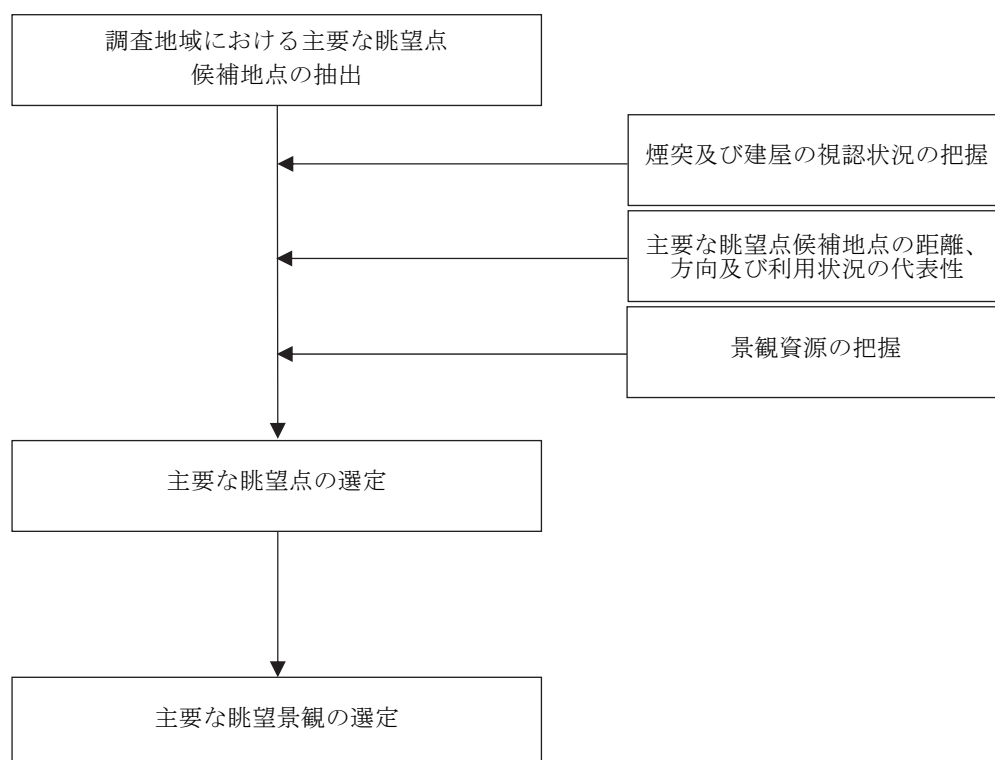
a. 主要な眺望景観の選定

主要な眺望景観の選定フローは、第 12.1.6-3 図のとおりである。

「① 主要な眺望点」で選定した 38 地点の主要な眺望点候補地点のうち、視認状況が比較的良好なものを基本として、距離、方向及び利用状況の代表性、さらに景観資源の位置関係を考慮して、主要な眺望景観を選定した。

主要な眺望景観の選定理由は、第 12.1.6-3 表のとおりである。

第 12.1.6-3 図 主要な眺望景観の選定フロー



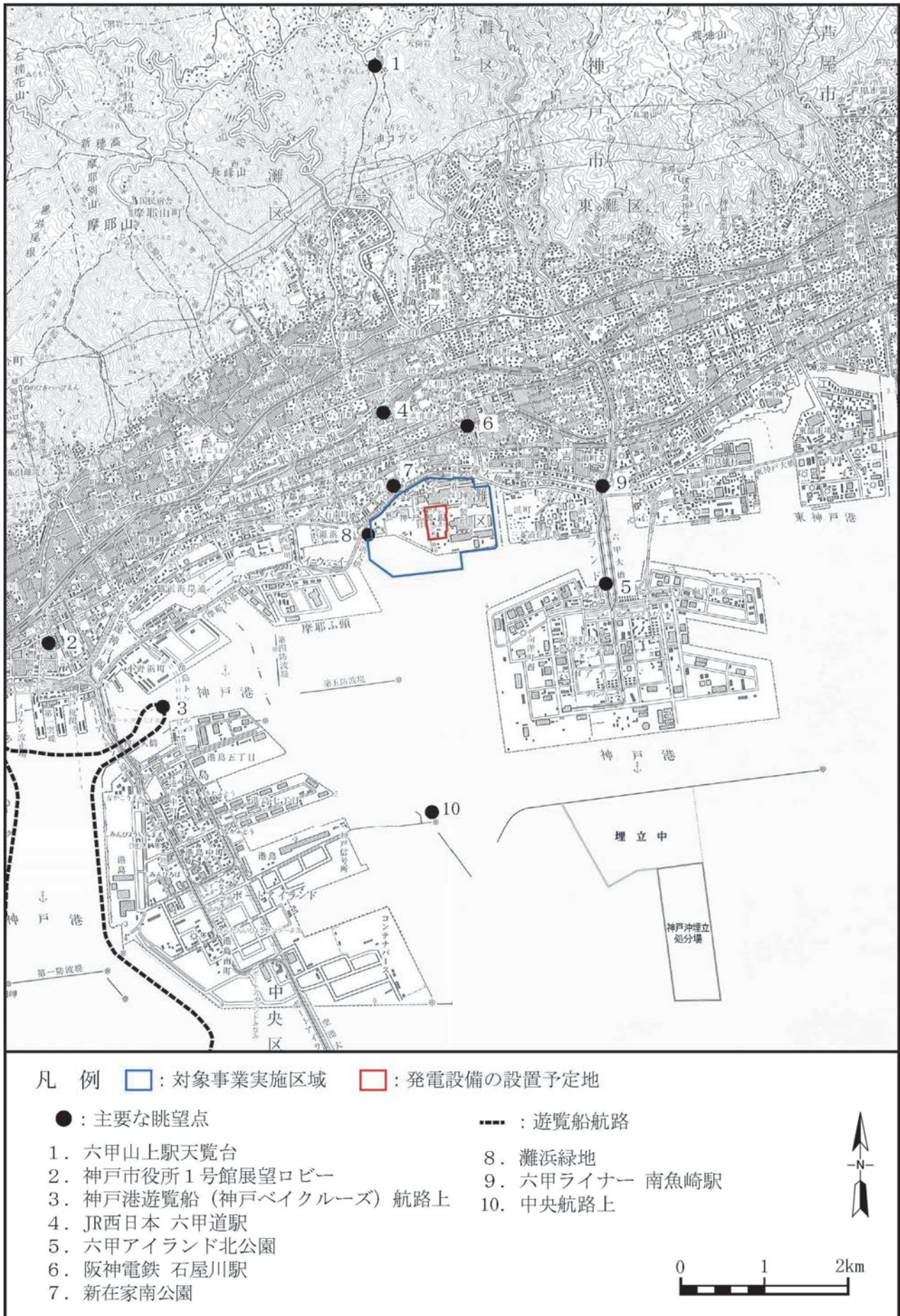
第 12.1.6-3 表 主要な眺望景観の選定理由

図中 番号	眺望点の名称	景観 区分	方向	距離	選定理由
1	六甲山上駅天覧台	遠景	北	約 5.6km	展望台からは、ポートアイランドや六甲アイランドの市街地を中央に、大阪湾から神戸市内を一望できる。発電設備の北に位置し、六甲山からの代表的な視点の1つと考えられる。
2	神戸市役所1号館展望ロビー	中景	西南西	約 4.8km	市役所の24階に位置し、東西南北の窓を通して神戸市内を眺望できる。発電設備の西側からの代表的な視点の1つと考えられる。
3	神戸港遊覧船(神戸ベイクルーズ)航路上	中景	西南西	約 3.7km	神戸港内をめぐる遊覧船からは、景観資源の六甲山地を背景に市街地と海を一体で見渡せる。海からの代表的な視点の1つと考えられる。
4	JR西日本 六甲道駅	中景	北北西	約 1.6km	発電設備近傍の駅の1つで、駅のホームから発電設備を望める。
5	六甲アイランド北公園	中景	東南東	約 2.2km	六甲アイランドの北端に位置し、景観資源の六甲山地を背景に港湾施設等とともに発電施設を望める。六甲アイランドからの代表的な視点の1つと考えられる。
6	阪神電鉄 石屋川駅	中景	北北東	約 1.3km	発電設備近傍の駅の1つで、駅の最西端では発電設備を北側から望める。
7	新在家南公園	近景	北西	約 0.8km	発電設備近傍の公園の1つで、発電設備を北側から望める。
8	灘浜緑地	近景	西	約 0.9km	発電設備近傍の公園の1つで、発電設備を西側から望める。
9	六甲ライナー 南魚崎駅	中景	東北東	約 2.1km	発電設備近傍の駅の1つで、駅のホームから景観資源の六甲山地を背景に発電設備を望める。東側からの代表的な視点の1つと考えられる。
10	中央航路上	中景	南	約 3.4km	神戸港内の航路のうち、大型客船が航行する航路の1つで、景観資源の六甲山地を背景に発電設備を望める。南側からの代表的な視点の1つと考えられる。

注：1. 図中記号は、第 12.1.6-4 図を参照。

2. 景観区分、方向、距離は、第 12.1.6-1 表を参照。

第 12.1.6-4 図 主要な眺望景観の位置



b. 現地調査

(a) 調査地域

対象事業実施区域を中心とした半径約5kmの範囲内とした。

(b) 調査地点

第12.1.6-4図に示す、主要な眺望点として選定した10地点とした。

(c) 調査期間

主要な眺望景観の特性を踏まえ、視認状況が良好な以下の期間に行った。

春季：平成28年4月11日、15日、19～20日、26日、5月12日

夏季：平成28年7月20日、8月10日、12日、30日

秋季：平成28年10月24日、11月2日、4日、26日

冬季：平成28年1月26日、31日、2月4日、16日、19日、21日、24～26日

(d) 調査方法

主要な眺望景観の状況について、主要な眺望点からの写真撮影及び目視確認を行い、調査結果の整理及び解析を行った。写真撮影には、デジタル一眼レフカメラを使用し、人の視野角に近いとされる焦点距離28mmレンズ（水平画角約65度）で撮影した。調査地点10の中央航路上については、神戸中央航路及び新港航路を航行する大型客船からの眺望景観を想定し、水面上約30mから撮影を行った。

(e) 調査結果

主要な眺望景観の状況は、第12.1.6-5～12.1.6-14図の上段（現況）の写真のとおりである。なお、各眺望点からの写真は、天候、視程及び撮影画像の状態等から以下の日に撮影したものを使用した。

1	六甲山上駅天覧台	：平成28年8月30日
2	神戸市役所1号館展望ロビー	：平成28年10月24日
3	神戸港遊覧船(神戸ベイクルーズ)航路上	：平成28年4月15日
4	JR西日本 六甲道駅	：平成28年10月24日
5	六甲アイランド北公園	：平成28年10月24日
6	阪神電鉄 石屋川駅	：平成28年4月20日
7	新在家南公園	：平成28年7月20日
8	灘浜緑地	：平成28年10月24日
9	六甲ライナー 南魚崎駅	：平成28年4月20日
10	中央航路上	：平成28年11月4日

(2) 予測及び評価の結果

① 土地又は工作物の存在及び供用

a. 地形改変及び施設の存在

(a) 環境保全措置

地形改変及び施設の存在に伴う景観への影響を低減するため、以下の環境保全措置を講じる。

- ・ボイラー架構、タービン建屋等の構造は、ボリューム感を小さく見せるため、縦形のプロポーションになるよう壁面を分割し、基部、中間部、頂部に分けてブロック化を図るとともに、石炭を燃料とする最新鋭の発電技術を導入することを踏まえ、先進性を表現するため、連層窓、ガラスカーテンウォールを配置する。
- ・煙突は、スリムながら安定感を表現するため、神戸発電所と同様、2筒身集合型とするとともに、建屋同様、基部、中間部、頂部に分けた3層構造とする。
- ・ボイラー架構、タービン建屋等の色彩は、アースカラーやグレー系をベースカラーとして選定することで周辺環境との調和を図り、シルバー系の無彩色やブルー系色をアクセントカラーとして選定することで先進性を表現する。
- ・対象事業実施区域における樹木の伐採は必要最小限とするとともに、新たに緑化マウンドを設けて植栽を行うことにより、対象事業実施区域における緑地面積は約 61,000m² から約 86,000m² となる。

(b) 予測地域

対象事業実施区域を中心とした半径約 5 kmの範囲内とした。

(c) 予測地点

第 12.1.6-4 図に示す主要な眺望点に選定した 10 地点とした。

(d) 予測対象時期

発電所の建物等が完成した時点とした。

(e) 予測手法

主要な眺望景観について、コンピューターグラフィックスで作成した発電所の建物等の図を現状の写真と合成するフォトモンタージュ法により、主要な眺望景観の変化の程度を視覚的に予測した。

(f) 予測結果

7. 主要な眺望点及び景観資源

発電設備の設置予定地は、神戸製鉄所内の既存の敷地を利用することから、対象事業の実施による主要な眺望点及び景観資源の改変はない。

1. 主要な眺望景観

主要な眺望景観の予測結果は、第 12.1.6-5～12.1.6-14 図の下段（将来）の写真のとおりであり、各眺望景観の変化の状況は、次のとおりである。

(7) 六甲山上駅天覧台

現状の眺望景観は、眼下に六甲山地の山麓、神戸市内及び大阪湾を一望できる景観となっており、その中に神戸発電所など対象事業実施区域全体が視認される。

将来についても、設置される発電設備を含め対象事業実施区域全体が視認されることになるが、変化する範囲は視野のごく一部であり、建屋等の色彩を周辺の景観形成に配慮したものとすることから、新たな施設の出現による視覚的な変化はほとんどないと予測され、眺望景観への影響はほとんどないと考えられる。

なお、眺望景観の視野に入る景観資源はないため、景観資源の眺望への影響はない。

(イ) 神戸市役所 1号館展望ロビー

現状の眺望景観は、展望ロビーの主な眺望方向は南方向であるが、東方向に望める高層ビル及び市街地とともに神戸発電所が視認される。

将来については、煙突、貯炭設備及びボイラー架構が視認されることになるが、変化する範囲は視野のごく一部であり、建屋等の色彩を周辺の景観形成に配慮したものとすることから、新たな施設の出現による視覚的な変化はほとんどないと予測され、眺望景観への影響はほとんどないと考えられる。

なお、眺望景観の視野に入る景観資源はないため、景観資源の眺望への影響はない。

(ウ) 神戸港遊覧船（神戸ベイクルーズ）航路上

現状の眺望景観は、遊覧コースの後半に神戸大橋を通過すると神戸港、港湾施設及び六甲山地が望める景観となっており、その中に神戸発電所が視認される。

将来については、煙突、貯炭設備及びボイラー架構が視認されることになるが、変化する範囲は視野のごく一部であり、建屋等の色彩を周辺の景観形成に配慮したものとすることから、新たな施設の出現による視覚的な変化はほとんどないと予測され、眺望景観への影響はほとんどないものと考えられる。

なお、眺望景観の視野に入る景観資源は自然景観の六甲山地が視認されるが、発電設備により景観資源への眺望が阻害されることはなく、景観資源の眺望への影響はほとんどないと考えられる。

(エ) JR西日本 六甲道駅

現状の眺望景観は、駅前周辺の商業施設及び住宅地を望める景観となっており、その後背に製鉄所の煙突の一部が視認される。

将来については、建物の後背に煙突の一部が視認されることになるが、変化する範囲は小さく、建屋等の色彩を周辺の景観形成に配慮したものとすることから、新たな施設の出現による視覚的な変化は少ないと予測され、眺望景観への影響は少ないものと考えられる。

なお、眺望景観の視野に入る景観資源はないため、景観資源の眺望への影響はない。

(オ) 六甲アイランド北公園

現状の眺望景観は、倉庫、コンテナ及びクレーン等の港湾施設の後背に六甲山地を望める景観となっており、その港湾施設の中に神戸発電所が視認される。

将来については、煙突、貯炭設備及びボイラー架構が視認され、煙突は山の稜線をこえることになるが、変化する範囲は一部であり、建屋等の色彩を周辺の景観形成に配慮したものとすることから、新たな施設の出現による視覚的な変化は少ないと予測され、眺望景観への影響は少ないものと考えられる。

なお、眺望景観の視野に入る景観資源は自然景観の六甲山地が視認されるが、発電設備により景観資源への眺望が阻害されることは少なく、景観資源の眺望への影響は少ないものと考えられる。

(カ) 阪神電鉄 石屋川駅

現状の眺望景観は、線路、住宅地及び商業施設が望める景観となっており、それらの建物の後背に神戸発電所が視認される。

将来については、煙突及びボイラー架構が視認されることになるが、変化する範囲は一部であり、建屋等の色彩を周辺の景観形成に配慮したものとすることから、新たな施設の出現による視覚的な変化は少ないと予測され、眺望景観への影響は少ないものと考えられる。

なお、眺望景観の視野に入る景観資源はないため、景観資源の眺望への影響はない。

(キ) 新在家南公園

現状の眺望景観は、公園及び高速道路を望める景観となっており、その後背に神戸発電所の煙突が視認される。

将来については、煙突が視認されることになるが、対象事業実施区域の南側に配置することから、変化する範囲は視野のごく一部であり、新たな施設の出現による視覚的な変化は少ないと予測され、眺望景観への影響は少ないものと考えられる。

なお、眺望景観の視野に入る景観資源はないため、景観資源の眺望への影響はない。

(ク) 灘浜緑地

現状の眺望景観は、公園、神戸発電所を望める景観となっている。

将来については、石炭灰貯蔵設備、貯炭設備及び煙突が視認されることになる。変化する範囲は眺望点が近接することもあり、比較的大きいが、建屋等の色彩を周辺の景観形成に配慮したものとすることから、新たな施設の出現による視覚的な変化は少ないと予測され、眺望景観への影響は少ないものと考えられる。

なお、眺望景観の視野に入る景観資源はないため、景観資源の眺望への影響はない。

(ケ) 六甲ライナー 南魚崎駅

現状の眺望景観は、運河を挟んで工場地域を一望できる景観となっており、その後背に神戸発電所が視認される。

将来については、煙突、貯炭設備及びタービン建屋が視認されることになるが、変化する範囲は視野のごく一部であり、建屋等の色彩を周辺の景観形成に配慮したものとすることから、新たな施設の出現による視覚的な変化はほとんどないと予測され、眺望景観への影響はほとんどないものと考えられる。

なお、眺望景観の視野に入る景観資源は自然景観の六甲山地が視認されるが、発電設備により景観資源への眺望が阻害されることはなく、景観資源の眺望への影響はほとんどないと考えられる。

(コ) 中央航路上

現状の眺望景観は、神戸港内の港湾施設、工場及び六甲山地を一望できる景観となっており、その中に神戸発電所など対象事業実施区域全体が視認される。

将来については、設置される発電設備を含め対象事業実施区域全体が視認されることになるが、変化する範囲は視野のごく一部であり、建屋等の色彩を周辺の景観形成に配慮したものとすることから、新たな施設の出現による視覚的な変化はほとんどないと予測され、眺望景観への影響はほとんどないものと考えられる。

なお、眺望景観の視野に入る景観資源は自然景観の六甲山地が視認されるが、発電設備により景観資源への眺望が阻害されることはなく、景観資源の眺望への影響はほとんどないと考えられる。

第 12. 1. 6-5 図 主要な眺望景観の現状と予測結果（六甲山上駅天覧台）

【現状】

撮影日：平成 28 年 8 月 30 日



【将来】



第 12. 1. 6-6 図 主要な眺望景観の現状と予測結果（神戸市役所 1 号館展望ロビー）

【現状】

撮影日：平成 28 年 10 月 24 日



【将来】



第 12. 1. 6-7 図 主要な眺望景観の現状と予測結果（神戸港遊覧船 航路上）

【現状】

撮影日：平成 28 年 4 月 15 日



【将来】



第 12.1.6-8 図 主要な眺望景観の現状と予測結果 (JR西日本 六甲道駅)

【現状】

撮影日：平成 28 年 10 月 24 日



【将来】



第 12.1.6-9 図 主要な眺望景観の現状と予測結果（六甲アイランド北公園）

【現状】

撮影日：平成 28 年 10 月 24 日



【将来】



第 12.1.6-10 図 主要な眺望景観の現状と予測結果（阪神電鉄 石屋川駅）

【現状】

撮影日：平成 28 年 4 月 20 日



【将来】



第 12. 1. 6-11 図 主要な眺望景観の現状と予測結果（新在家南公園）

【現状】

撮影日：平成 28 年 7 月 20 日



【将来】



第 12.1.6-12 図 主要な眺望景観の現状と予測結果（灘浜緑地）

【現状】

撮影日：平成 28 年 10 月 24 日



【将来】



第 12.1.6-13 図 主要な眺望景観の現状と予測結果（六甲ライナー 南魚崎駅）

【現状】

撮影日：平成 28 年 4 月 20 日



【将来】



第 12.1.6-14 図 主要な眺望景観の現状と予測結果（中央航路上）

【現状】

撮影日：平成 28 年 11 月 4 日



【将来】



(g) 評価の結果

7. 環境影響の回避・低減に係る評価

地形改変及び施設の存在に伴う景観への影響を低減するため、以下の環境保全措置を講じる。

- ・ボイラー架構、タービン建屋等の構造は、ボリューム感を小さく見せるため、縦形のプロポーションになるよう壁面を分割し、基部、中間部、頂部に分けてブロック化を図るとともに、石炭を燃料とする最新鋭の発電技術を導入することを踏まえ、先進性を表現するため、連層窓、ガラスカーテンウォールを配置する。
- ・煙突は、スリムながら安定感を表現するため、神戸発電所と同様、2筒身集合型とするとともに、建屋同様、基部、中間部、頂部に分けた3層構造とする。
- ・ボイラー架構、タービン建屋等の色彩は、アースカラーやグレー系をベースカラーとして選定することで周辺環境との調和を図り、シルバー系の無彩色やブルー系色をアクセントカラーとして選定することで先進性を表現する。
- ・対象事業実施区域における樹木の伐採は必要最小限とするとともに、新たに緑化マウンドを設けて植栽を行うことにより、対象事業実施区域における緑地面積は約 61,000m² から約 86,000m² となる。

これらの環境保全措置を講じることにより、主要な眺望景観への影響は少ないものと考えられることから、地形改変及び施設の存在に伴う景観への影響は、実行可能な範囲内で低減が図られているものと評価する。